

常任委員会Q&A

総務委員会

開会日 2月20日(木)・24日
(月)・26日(水)・3月24日(月)

案件 議案14件・陳情1件
・報告2件等

●財産の無償譲渡について

問 無償譲渡の内容と目的は。
答 旧区立特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人に対し、施設の建物等を無償譲渡するとともに土地については定期借地契約により有償貸し付けを行うもの。無償譲渡により、安定したサービス提供体制を整え、良質な介護保険サービスを提供できることになる。また、施設運営の自由度及び効率性が高まり、柔軟性のあるサービスの提供が可能となる。

区民厚生委員会

開会日 2月20日(木)・24日
(月)・26日(水)・3月5日(水)

案件 議案4件・陳情5件
・報告11件

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

問 肝がん患者が助成の対象となっていないのはなぜか。
答 治療目的が、ウイルスの排除を目指すものであるため。
問 肝硬変・肝がんは、アルコールが原因となることが多いとも聞くが。
答 以前はそう考えられたが、ウイルス性肝炎を原因とする方が多いことがわかってきた。

都市整備委員会

開会日 2月21日(金)・25日(火)

案件 議案3件・陳情4件
・報告4件等

●造幣局跡地を多目的広場として利用を求める陳情

問 当該敷地の処分は、どのような指針か。取得に向けた検討状況は。
答 造幣局の計画で、国庫返納か直接売却が決まるものと見ている。情報収集に努めていく。

●「容器包装リサイクル法」に関する意見書を国に提出することを求める陳情

問 自治体の活動だけでは2Rの推進に限界がある。具体策は。
答 啓発活動や事業者との連携に努めていく。

子ども文教委員会

開会日 2月21日(金)・25日(火)

案件 議案3件・陳情2件
・報告11件等

●豊島区立豊島公会堂条例を廃止する条例

問 公会堂の廃止の時期は。
答 27年10月末を予定している。
問 廃止の際に何か行事は予定しているのか。
答 セレモニー等を考えたい。

●豊島区保育の実施及び費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例

問 この措置によって保育料はどうなるのか。
答 本改正によって保育料の算定は今までと同じになる。

予算特別委員会

2月14日の本会議にて、平成26年度一般会計等4会計予算を審査するため、16名の委員からなる予算特別委員会を設置しました。8日間にわたる質疑を行い、最終日の3月17日には、会派等ごとの意見表明(要旨は8面)後、採決を行った結果、一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計については賛成多数で、一般会計補正予算(第1号)については全会一致で原案を可決することとしました。なお、審査期間中に提出された一般会計予算の組替えに関する動議は、賛成少数で否決しました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

総務費

●災害時の情報発信について

問 災害時に区民に情報を伝えるツールはどのようなものか。
答 防災行政無線、豊島区のホームページ、安全・安心メールによる情報提供、緊急速報メールを活用した災害情報の配信、区と災害時の協力協定を締結しているケーブルテレビのあわせで5つの媒体を使い区民に情報発信を行っている。

●区民ひろばについて

問 区民ひろばプラチナ社会共創事業とは。
答 区内の大学と連携をし、インターンシップの形で長期的に学生に区民ひろばの運営や事業に参画してもらおう。また、企業に社会貢献活動の一環として、区民ひろば施設でさまざまなプログラムを実施していただく。

福祉費

●保育について

問 保育園の潜在的待機児童問題をどのように解決していくか。
答 調査を行いニーズを正確に把握し、受入枠をつくっていく。
問 一時保育、休日保育はあまり知られていない。便利だと人

値を毎朝チェックしている。

都市整備費

●老朽建物除却費助成事業

問 どれくらい費用を助成するのか。
答 危険と認められた建物の場合、個人を対象に、百万円を上限として助成する。
問 樹木などの外構にも適用できるのか。
答 建物以外には適用されない。ただし、塀の除却助成という事業は従前からある。

土木費

●池袋西口駅前広場モザイクルチャイ設置事業

問 中長期的な視点に立った場合、区が関与していく必要性は。
答 維持管理等、ボランティアでやってもらっている部分では、コミュニティ形成にも役立つ。

文化商工費

●中小商工業融資事業

問 現在のとしまビジネスサポート相談件数は。
答 4年前から比べるとかなりふえている。

教育費

●スクールソーシャルワーカー活用事業

問 ワーカーの具体的な働きは。
答 スクールソーシャルワーカーはいじめ、不登校、児童虐待、家庭のさまざまな問題など学校だけでは解決しきれない問題にかかわってきた。
●学校運営諸経費
問 学校図書システムの進行状況は。
答 23年度から導入して、25年度で全校完了した。

国民健康保険事業会計

●資格証と短期証について

問 資格証の発行数では、23区中、上から2番目という現状をどのように考えているのか。
答 資格証と短期証は、負担の公平性から必要な施策。数字は、適切な対応の結果と考える。

後期高齢者医療事業会計

●保険料改定について

問 来年度保険料改定が示されているが、その特徴は。
答 高所得者の賦課限度額の2万円アップ、低所得者向け均等割保険料の軽減対象拡充である。

介護保険事業会計

●給付適正化対策事業について

問 この事業の内容は。
答 各事業所に対し、請求内容に過誤がないか、また、人員配置が適正か等を実施指導する。

予算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎里中 郁男 (自民党豊島区議団)
 - 西山 陽介 (公明党)
 - 古堺 稔人 (みんなの会)
 - 石川 大我 (自治みらい)
 - 高橋佳代子 (公明党)
 - 中田 兵衛 (生活の党)
 - 磯 一昭 (自民党豊島区議団)
 - 森 とおる (日本共産党)
 - 藤本きんじ (自治みらい)
 - 中島 義春 (公明党)
 - 星 京子 (自民党豊島区議団)
 - 竹下ひろみ (自民党豊島区議団)
 - 渡辺くみ子 (日本共産党)
 - 大谷 洋子 (自治みらい)
 - 木下 広 (公明党)
 - 垣内 信行 (日本共産党)